

## 病態制御医学講座／小児科学分野 附属病院／小児科 総合周産期母子医療センターNICU/GCU

## 1. 領域構成教職員・在職期間

教授	大嶋 勇成	1998年9月- (2010年11月-現職)
准教授	畑 郁江	2000年7月- (2015年7月-現職)
講師	川谷 正男	2003年4月- (2011年3月-現職)
講師	安富 素子	2009年4月- (2015年6月-現職)
助教	徳力 周子	2008年10月-2017年7月
助教	鈴木 孝二	2009年4月-2010年3月、2012年4月-
助教	村井 宏生	2012年7月-
助教	巨田 元礼	2014年4月-
助教	奥野 貴士	2012年4月- (2015年6月-現職)
助教	五十嵐 藍子	2015年7月- (2017年8月-現職)
特命助教	吉川 利英	2017年4月-
特命助教	湯浅 光穂	2017年8月-
教授	谷澤 昭彦	1993年4月- (2015年4月-現職)
客員教授	重松 陽介	2016年4月-

## 2. 研究概要

## 研究概要

病態制御医学講座／小児科学領域および附属病院／小児科・総合周産期母子医療センターで実施されている研究は、「アレルギー・免疫・感染部門」、「血液・腫瘍部門」、「内分泌・代謝・栄養・先天異常部門」、「神経・発達・子どものこころ・成育・保健部門」、「胎児・新生児・未熟児部門」、「腎・泌尿器部門」の6部門に分類される。個々の部門はそれぞれ独立して、また、相互に協力して、研究を実施した。

## (免疫・アレルギー部門)

小児のアレルギー疾患、免疫疾患、感染症を対象に、その病因・病態の解析と治療法の開発のための研究を実施している。科学研究費補助金・基盤研究(C)「ナノ粒子を利用した食物アレルギーの経皮免疫療法」(研究代表者)、科学研究費補助金・若手研究(B)「皮膚免疫応答の制御による、食物アレルギーの感作抑制と免疫療法への応用」(研究代表者)、科学研究費補助金・若手研究(B)「ステロイド抵抗性喘息における気道上皮細胞のオートファジーの重要性」(研究代表者)、科学研究費補助金・若手研究(B)、「線維細胞を指標とした気道リモデリング進展リスク評価法の確立」(研究代表者)、日本医療研究開発機構(AMED)「小児期食物アレルギーの新規管理法の確立に関する研究」(研究分担者)を行い、小児アレルギー性疾患の病因病態の解析、食物アレルギーに対する経口減感作療法における耐性獲得機序の解明や治療判定基準の開発研究、食物アレルギーの新規治療法の開発、気管支喘息における気道リモデリング機序の解析とバイオマーカーの開発を行った。また、Allergy International編集委員、日本小児アレルギー学会編集委員長、日本小児アレルギー学会食物アレルギーガイドライン委員、好酸球性気管支炎ガイドライン統括委員などの活動を通じ、我が国の食物アレルギーガイドラインの作成に中心的な役割を果たした。原発性免疫不全症や小児膠原病、炎症性腸疾患、自己炎症性疾患の病態解析を行い、治療成績の改善につなげている。

## (内分泌・代謝部門)

小児内分泌・代謝疾患の病因・病態の解明と診断・治療法の開発に関する研究を実施している。タンデム質量分析計を用いた新生児代謝異常マス・スクリーニング(タンデムマス・スクリーニング)の精度管理に関する研究(厚生労働科学研究費補助金・成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業による)を実施した。各地の自治体・検査機関でのスクリーニング精度管理および陽性判定法を検討し、運用に関する支援を行った。タンデムマス・スクリーニングの多発する偽陽性例に対応するためのLC-MS/MSによる二次検査法の改良・開発をすすめ、学会にて報告した。特に、新生児マススクリーニング陽性例の精査において、アングリニン分析の有用性を検討し、研究成果を学会で報告した。先天代謝異常症の化学診断の我が国における中心施設として、全国各地の医療機関研究機関から分析依頼を受け付け、新たに開発した末梢血単核球を用いた脂肪酸酸化能検査も用いて多数の有機酸代謝異常症・アミノ酸代謝異常症・脂肪酸酸化異常症患者の診断に貢献した。日本医療研究開発機構(AMED)難治性疾患実用化研究事業「ミトコンドリア病に合併する高乳酸血症に対するビルビン酸ナトリウム治療法の開発研究-一試薬からの希少疾病治療薬開発の試み-」の研究開発分担者として、「ミトコンドリア病患者を対象としたビルビン酸 Naの長期投与試験」を実施し、ミトコンドリア病に対するビルビン酸Naの効果と安全性について検討した。また、ミトコンドリア病の新規バイオマーカーとして開発されたGDF15について、体外診断薬としての有用性を確認するための検討を行った。

先天代謝異常症、内分泌疾患の臨床症例から得られた情報をもとに、病態や治療法などの検討を行い、関連学会にて報告した。また、福井県小児糖尿病サマーキャンプなどによる小児糖尿病患者の療養教育を行うとともに、県内の医師、看護師、栄養士に対し、講習会などを通じて小児の成長、糖尿病などに関する知識の普及に貢献した。

## (神経発達部門)

小児神経・筋疾患、神経発達症の病因・病態の解明、有用な診断法の開発と有効な治療や療育法の開発に関する研究を実施している。科学研究費補助金(基盤研究C)「医学的評価に基づききょうだい支援システムの構築(研究代表者)」、基盤研究C「自閉性障害の神経ネットワーク異常に関する研究:非線形解析による脳形態生理学的検討(研究分担者)」、大学連携リグ連携研究推進事業などの援助を受けて、小児の神経発達症の病態解明や診断に有用なバイオマーカーの開発、神経発達症とその家族(特にきょうだい)に対する有効な支援方法の開発、神経発達症を対象とした非線形解析やネットワーク解析を用いた発達障害における脳内神経ネットワーク障害の解明、発達性ディスレクシアに対する早期介入の試み等を行い、その成果を専門学会に報告してきた。また、福井県唯一の日本小児神経学会小児神経専門医認定施設として、希少疾患や難治性疾患の診断や治療を行い、その成果を学会や専門誌に報告してきた。また、福井県内の小児神経専門医を志す若手医師育成や専門的な指導を行うために、小児神経に関する画像、脳波、臨床遺伝の勉強会を定期的に開催している。さらに、公立小浜病院や市立敦賀病院で小児神経・精神疾患の専門外来を開設し、福井県内の小児神経の専門診療ネットワークを構築している。神経発達症などの小児精神疾患に関しては、附属病院こどもの心診療部、福井県内の療育機関、教育機関や行政機関と連携を取りながら、発達障害の診断、治療や専門医師の育成に力を注いでいる。小児での試験推進にも積極的に取り組んでおり、小児の注意欠如・多動症や睡眠障害を対象とした臨床試験を行っている。

## (血液腫瘍部門)

小児血液疾患、悪性腫瘍の病因・病態の解析と治療法の開発に関する研究を実施している。日本小児がん研究グループ(JCGG)の参加施設として、白血病・悪性リンパ腫などの造血器腫瘍、神経芽腫等の固形腫瘍について最新の臨床治療研究を行うと共に、再生不良性貧血や免疫不全症例などの非腫瘍性疾患も含めた難治症例への造血幹細胞移植を組み入れた集学的治療を行っている。JCGG血液腫瘍分科会活動として、AMEDによる革新的がん医療実用化研究事業(小児骨髄系腫瘍に対する標準的治療法の確立)の分担研究者として、慢性骨髄性白血病における二次治療として第2世代チロシナーゼ阻害薬の比較に関する後方視的解析を論文報告し、今後の慢性骨髄性白血病の第2世代チロシナーゼ阻害薬の新規比較試験の準備を進めている。さらに、慢性骨髄性白血病の長期予後に関する後方視的調査研究を小児血液がん学会で報告した。基礎研究に関しては、難治固形腫瘍に対する新規免疫療法の開発を目指し、造血幹細胞移植後の免疫系再構築過程における抗腫瘍免疫を効率的に導くための自家造血幹細胞移植法の研究に取り組んでいる。また、神経芽腫細胞株を用いて、ナノ粒子を用いたレチノイン酸のドラッグデリバリーに関する研究を開始している。

## (胎児・新生児部門)

胎児・新生児の生理および病態の解明と難治性疾患に対する効果的治療法の開発を目指した研究を行っている。科学研究費補助金・若手研究(B)「未熟児の消化管発育促進戦略:臨床所見と生体マーカーの相関の検討」(研究代表者)では、未熟児消化管機能の評価法の確立を検討し、SFDとしての出生が早産児におけるrefeeding syndromeの発症リスク因子となることを明らかにした。また、早産児の慢性腎臓病発症を予測するバイオマーカーに関する研究を行った。周産期母子医療センターネットワークに参加し、早産児の長期的予後を全国レベルでデータベース化する共通システムへの情報提供を行った。新生児の希少疾患、難治性疾患の診断、治療にあたり、関連学会、研究会で報告した。日本周産期・新生児医学会の専門医研修施設として新生児専門医の育成にあたり、また、日本周産期・新生児医学会公認の新生児蘇生法の普及に努めており、新生児蘇生法講習会を主催しインストラクターを派遣した。

## (腎臓部門)

小児の腎・尿路疾患における早期診断並びに効果的治療法の開発、改善を目指した研究を行っている。胎児・新生児・未熟児部門と共同で、未熟児・新生児の尿検体を用いて腎障害の早期発見に有用なバイオマーカーを検討している。CAKUT (congenital anomalies of kidney and urinary tract) に対し、出生後ほもとより、胎生期からの効果的な介入方法を検討している。定期的に福井県小児腎疾患症例検討会を開催し、県内各診療施設間での知見の共有と補完、並びに最新の治療方針の普及に努めるとともに、福井県下での学校検尿有所見者に対する二次精密検査の標準化プロトコルの作成を目標に活動を展開している。

## キーワード

小児科学, 免疫性疾患, アレルギー性疾患, アレルギー, 膠原病, 感染症, 免疫不全症, 自己炎症性疾患, 血液疾患, 臨床腫瘍学, 血液の疾患の治療, 代謝異常, 栄養性疾患, 内分泌疾患, 小児マススクリーニング, 質量分析法, 小児神経・筋疾患, 神経発達症, 子どものこころ, 発達心理学, 胎児・未熟児・新生児, 栄養・成育, 体液, 生体応答, ネフローゼ症候群, 糸球体腎炎, 先天性腎尿路奇形, 尿路感染症, 腎不全

**特色等**

小児科学の各専門領域で優れた研究を実施し、その成果を国内外に発信している。同時に、小児アレルギー疾患の治療ガイドラインの策定や先天代謝異常症のマス・スクリーニング、発達障害のきょうだい支援体制の構築など、近年社会的に問題となっている疾患の診療・予防・管理に直接結びつく研究を継続して行っている。福井県の医療・保健行政に対し、関係する各種委員会の委員として参加することにより貢献するとともに、血液・腫瘍部門は福井県唯一の骨髄移植認定施設として、骨髄移植治療成績の向上のための臨床研究を進め、国内外の大規模な専門施設にひけをとらない治療成績を上げている。新生児・未熟児部門は総合周産期母子医療センターのNICU/GCU部門として超未熟児に対する優れた治療成績を上げており、日本周産期・新生児医学会認定の専門医研修施設として新生児専門医の育成を行っている。神経・発達部門は小児科の積極的な関与が求められる「発達障害」や「こころ」の問題を抱える児に対する支援を、治療・臨床試験の推進、地域との学際的・有機的な連携のもとに、積極的に行っている。腎・泌尿器部門は福井県下の小児腎疾患の治療標準化を多施設共同で行っている。このように、小児科学・小児医療の多くの分野で、社会に大きく貢献している。

**本学の理念との関係**

小児科学領域は、上述の研究概要、研究進展状況、特色に記載したごとく、本学の理念である先端の医療人および医学研究者の育成、世界をリードする水準の研究成果の創出、高度な医療の実践、のすべての項目において、それに合致した優れた活動を実施している。

**3. 研究実績**

区分	総数	
	2017年分	インパクトファクター (うち原著のみ) 2017年分
和文原著論文	10	—
英文論文	ファーストオーサー	5 10.695 (10.695)
	コレスポンディングオーサー	4 9.873 (9.873)
	その他	5 35.881 (35.881)
	合計	10 46.576 (46.576)

**(A) 著書・論文等****(1) 英文：著書等****a. 著書****b. 著書 (分担執筆)****c. 編集・編集・監修****(2) 英文：論文等****a. 原著論文 (審査有)****1731001**Itoh N, Motokura K, Kumakura A, Hata D, Hata A: Herpes zoster meningitis in immunocompetent children: Two case reports and a literature review, *Pediatr Int*, 59(10), 1116-1118, 201710, DOI: 10.1111/ped.13362 (症例報告), #0.822**1731002**Sakamoto K, Imamura T, Kihira K, Suzuki K, Ishida H, Morita H, Kanno M, Mori T, Hiramatsu H, Matsubara K, Terui K, Takahashi Y, Suenobu SI, Hasegawa D, Kosaka Y, Kato K, Moriya-Saito A, Sato A, Kawasaki H, Yumura-Yagi K, Hara J, Hori H, Horibe K.: Low Incidence of Osteonecrosis in Childhood Acute Lymphoblastic Leukemia Treated With ALL-97 and ALL-02 Study of Japan Association of Childhood Leukemia Study Group, *J Clin Oncol.*, 36(9), 900-907, 20180320, DOI: 10.1200/JCO.2017.75.5066, #24.008**1731003**Nakamura K, Ito M, Shigematsu Y, Endo F: Tyrosinemia Type I in Japan: A Report of Five Cases., *Adv Exp Med Biol.*, 959, 133-138, 2017, DOI: 10.1007/978-3-319-55780-9\_12., #1.937**1731004**Bo R, Yamada K, Kobayashi H, Jamiyan P, Hasegawa Y, Taketani T, Fukuda S, Hata I, Niida Y, Shigematsu Y, Iijima K, Yamaguchi S: Clinical and molecular investigation of 14 Japanese patients with complete TFP deficiency: a comparison with Caucasian cases., *J Hum Genet*, 62(9), 809-814, 201709, DOI: 10.1038/jhg.2017.52, #2.471**1731005**Tajima G, Hara K, Tsumura M, Kagawa R, Okada S, Sakura N, Maruyama S, Noguchi A, Awaya T, Ishige M, Ishige N, Musha I, Ajihara S, Ohtake A, Naito E, Hamada Y, Kono T, Asada T, Sasai H, Fukao T, Fujiki R, Ohara O, Bo R, Yamada K, Kobayashi H, Hasegawa Y, Yamaguchi S, Takayanagi M, Hata I, Shigematsu Y, Kobayashi M: Newborn screening for carnitine palmitoyltransferase II deficiency using (C16+C18:1)/C2: Evaluation of additional indices for adequate sensitivity and lower false-positivity., *Mol Genet Metab*, 122(3), 67-75, 201711, DOI: 10.1016/j.ymgme.2017.07.011, #3.769**1731006**Okazaki S, Murai H, Kidoguchi S, Nomura E, Itoh N, Hashimoto N, Hamada T, Kawakita A, Yasutomi M, Ohshima Y: The Biomarker Salivary SP-D May Indicate Small Airway Inflammation and Asthma Exacerbation, *J Invl Allergol Clin Immunol*, 27(5), 305-312, 2017, DOI: 10.18176/jiacci.0174, #3.094**1731007**Igarashi A, Okuno T, Ohta G, Tokuriki S, Ohshima Y: Risk factors for the development of refeeding syndrome-like hypophosphatemia in very low birth weight infants, *Dis Markers*, 2017, 9748031, 2017, DOI: 10.1155/2017/9748031, #2.348**1731008**Hayashi T, Tokuriki S, Okuno T, Ohta G, Igarashi A, Ohshima Y: Urinary podocalyxin as a possible novel marker of intrauterine nephrogenesis and extrauterine podocyte injury, *Pediatr Nephrol*, 32(10), 1891-1896, 201710, DOI: 10.1007/s00467-017-3676-6., #2.516**1731009**Tokuriki S, Igarashi A, Okuno T, Ohta G, Naiki H, Ohshima Y: Treatment with geranylgeranylacetone induces heat shock protein 70 and attenuates neonatal hyperoxic lung injury in a model of bronchopulmonary dysplasia., *Lung*, 195(4), 469-476, 201708, DOI: 10.1007/s00408-017-0007-4., #1.915**1731010**Sakamoto K, Imamura T, Kanayama T, Yano M, Asai D, Deguchi T, Hashii Y, Tanizawa A, Ohshima Y, Kiyokawa N, Horibe K, Sato A: Ph-like acute lymphoblastic leukemia with a novel PAX5-KIDINS220 fusion transcript., *Genes Chromosomes Cancer*, 56(4), 278-284, 201704, DOI: 10.1002/gcc.22433, #3.696**b. 原著論文 (審査無)****c. 原著論文 (総説)****d. その他研究等実績 (報告書を含む)****e. 国際会議論文****(3) 和文：著書等****a. 著書****b. 著書 (分担執筆)****1731011**

真部哲治, 村井宏生, 高岡有里: CQ3 小児気管支喘息患者において吸入ステロイド薬(ICS)で長期管理中の追加治療としてロイコトリエン受容体拮抗薬(LTRA)の追加は有用か: 日本小児アレルギー学会: 小児気管支喘息治療・管理ガイドライン2017, 協和企画, 17, 20171117, 978-4-87794-192-5

**1731012**

川谷正男: 17神経発達症 (発達障害) 1. 神経発達症群/神経発達障害群 1) 総論, 2) 知的発達症/知的発達障害, 3) 自閉スペクトラム症/自閉症スペクトラム障害, 4) 限局性学習症/限局性学習障害: 日本小児神経学会: 小児神経専門医テキスト, 診断と治療社, 315-317, 20170616, 978-4-7878-2277-2

**1731013**

畑那江, 重松陽介: 骨髄移植後より長期経過後に脊髄圧迫と呼吸障害が進行したムコ多糖症VI型の1例: 奥山 虎之, 小須賀 基通: ムコ多糖症症例集 早期診断・早期治療のために, クリエイトール, 82-85, 20170722, 978-4-9908712-0-8

- 1731014** 大嶋勇成: 気管支喘息の発症予防 ハイリスク者への予防(主に一次予防): 三嶋 理晃、井上 博雅: 呼吸器疾患 診断治療アプローチ 気管支喘息, 中山書店, 192-196, 201706, 978-4-521-74525-1
- 1731015** 大嶋勇成: 小児の急性細気管支炎: 山口 徹、北原 光夫: 今日の治療指針2017, 医学書院, 1353-1354, 2017
- c. 編纂・編集・監修**
- (4) 和文: 論文等**
- a. 原著論文 (審査有)**
- 1731016** 渡邊一寿、小坂拓也、小泉瑛子、酒井武彦、田口律代、津田英夫、野坂和彦、大嶋勇成: 指節骨に局限した骨髓浮腫像を認めmicrogeodic diseaseと診断した手指の腫脹例, 小児科臨床, 71(1), 79-83, 201801
- 1731017** 中林結子、大嶋勇成: 一過性の横紋筋融解を認めたマイコプラズマ肺炎, 日本小児呼吸器学会雑誌, 28(2), 221-226, 2017
- 1731018** 林泰平、有賀諒、五十嵐愛子、奥野貴士、玉村宗一、森夕起子、大嶋勇成: 前置血管の破綻による重症新生児仮死で出生した新生児に認めた腎乳頭壊死, 日本小児腎臓学会誌, 30(2), 170-175, 2017
- 1731019** 伊藤尚弘、村井宏生、清水達人、前田夢吉、林泰平、津田雅世、安富素子、玉村宗一、森夕起子、石原靖紀、糟野健司、大嶋勇成: 初発時に急性腎障害を合併し、マルチターゲット療法と二重膜濾過血漿交換を行ったループス腎炎の1女児例, 小児リウマチ, 8(1), 29-33, 2017
- 1731020** 安富素子、川崎亜希子、山田健太、鈴木孝二、宮川和彦、長谷川稔、大嶋勇成: レイノー現象に対してシルデナフィルが有効であった混合結合組織病の小児例, 日本小児皮膚科学会雑誌, 36, 117-121, 2017
- 1731021** 田尾克生、田口律代、大嶋勇成: 胎児水腫、くも膜下腔拡大、門脈枝血栓症を呈したNoonan症候群の一例, 小児科臨床, 71(1), 25-30, 2018
- 1731022** 田尾克生、大嶋勇成: 腸切除後の腸管不全関連肝障害に対し魚油由来脂肪乳剤を使用した超低出生体重児の2例, 日本新生児生医学学会雑誌, 30(1), 48-53, 2018
- 1731023** 渡邊一寿、鈴木孝二、谷澤昭彦、巨田元礼、吉川利英、小練研司、村上真、今村好章、大嶋勇成: 白血病治療中のムコール虫垂炎および肝臓瘍に対する外科治療の役割, 小児科臨床, 70(10), 1501-1507, 2017
- 1731024** 村井宏生、伊藤尚弘、川崎亜希子、安富素子、大嶋勇成: 食物アレルギー・アナフィラキシーに関する講習の反復受講効果と講習内容の問題点, 日本小児アレルギー学会誌, 32(1), 127-135, 2018
- 1731025** 三嶋一輝、川谷正男、大嶋勇成: ER型(北米型)救急医療体制を有する大学附属病院における院内児洞虐待防止委員会の活動報告, 子どもの虐待とネグレクト, 19(3), 365-369, 2017
- b. 原著論文 (審査無)**
- c. 総説**
- 1731026** 大嶋勇成: 記憶に残る症例(38) 診断・治療の開始時期が明暗を分けた重症複合免疫不全症の2症例, アレルギー・免疫, 25(4), 554-556, 20180315
- 1731027** 村井宏生: 知っておきたい最新のアレルギー・免疫学用語 YKL-40, 日本小児アレルギー学会誌, 31(5), 751-752, 2017
- 1731028** 大嶋勇成: 論文査読の心得と執筆, 日本小児アレルギー学会雑誌, 32(1), 9-14, 2018
- 1731029** 大嶋勇成: 小児アトピー性皮膚炎治療のポイント, Visual Dermatology, 17(1), 56-59, 20171215
- 1731030** 大嶋勇成: 小児気管支喘息と気道リモデリング, 小児科臨床, 70(12), 2021-2025, 201712
- 1731031** 大嶋勇成: アレルギー発症予防, 日本小児科医学会報, 54, 35-37, 2017
- 1731032** 福家辰樹、大矢幸弘、海老澤元宏、伊藤浩明、相原雄幸、伊藤節子、今井孝成、大嶋勇成、金子英雄、近藤康人、下条直樹、長尾みずほ、宇理須厚雄、藤澤隆夫: 鶏卵アレルギー発症予防に関する提言, 日本小児アレルギー学会雑誌, 31, i-x, 2017
- 1731033** 井上祐三郎、大嶋勇成: 食物アレルギー診療ガイドライン2016 第2章免疫学的背景の知識, 日本小児アレルギー学会雑誌, 31, 180-187, 2017
- 1731034** 大嶋勇成: 免疫療法と腸内細菌叢のバランス, 臨床免疫・アレルギー科, 67, 501-505, 2017
- 1731035** 大嶋勇成: 組織細胞のアレルギーへの関与, 小児内科, 49, 28-32, 2017
- 1731036** 大嶋勇成: アレルギーと関連する免疫細胞・サイトカイン, 小児内科, 49, 9-15, 2017
- d. その他研究等実績 (報告書を含む)**
- 1731037** 竹下健一、渡部真裕、木下典子、船越康智、古市宗弘、八代将登、山田健太: 小児結核(LTBIも含む)の診断にIGRAが有用であることは非(Pros), 小児科臨床, 71(3), 380-383, 201803
- e. 国際会議論文**
- (B) 学会発表等**
- (1) 国際学会**
- a. 招待・特別講演等**
- 1731038** Ohshima Y: Diagnosis and treatment for food allergy in children in Japan, Qianjiang Pediatric Digestive Forum 2017: Conference of Pediatric Gastroenterology, Hepatology and Nutrition., 杭州(中国), 20170907
- b. シンポジスト・パネリスト等**
- c. 一般講演(口演)**
- 1731039** Sakamoto K, Imamura T, Kihira K, Suzuki K, Ishida H, Morita H, Kanno M, Mori T, Hiramatsu H, Matsubara K, Terui K, Takahashi Y, Suenobu SI, Hasegawa D, Kosaka Y, Kato K, Moriya-Saito A, Sato A, Kawasaki H, Yumura-Yagi K, Hara J, Hori H, Horibe K.: Low Incidence of Osteonecrosis in Childhood Acute Lymphoblastic Leukemia Treated With ALL-97 and ALL-02 Study of Japan Association of Childhood Leukemia Study Group, 59th ASH Annual Meeting & Exposition, Atlanta(USA), 201712
- 1731040** Shigematsu Y, Yuasa M, Hata I, Tajima G: Expanded Newborn Screening combined with Second-tier LC-MS/MS Methods., 10th International Society for Neonatal Screening(ISNS)-Asia Pacific Regional Meeting(APRM), Vlann baatar(Mongolia), 201708

## d. 一般講演 (ポスター)

- 1731041** Murai H, Itoh N, Kawasaki A, Yasutomi M, Ohshima Y: miRNAs in breast milk may correlate with early onset of allergy. AAAA Annual meeting 2018, orlando, Orlando(USA), 20180306
- 1731042** Kosaka T, Tsuda H, Komaki H, Saitsu H: A case of spinocerebellar degeneration with KIF1A de novo mutation, 14th Asian and Oceanian congress of child neurology, Fukuoka(Japan), 201705, Brain & Development, 39(3), 354, 201704
- 1731043** Ohta G, Kawatani M, Kosaka T, Kometani H, Takiguchi S, Ohshima Y, Tomoda A, Hiratani M: Clinical Characteristics of Children Diagnosed as Developmental Dyslexia and Treated from Infancy, 14th Asia and Oceanian Congress of Child Neurology, Fukuoka(Japan), 20170511, Brain & Development
- 1731044** Kawatani M, Kosaka T, Ohta G, Kometani H, Takiguchi S, Ohshima Y, Tomoda A, Hiratani M: Clinical Diversity in Siblings with Developmental Dyslexia, 14th Asia and Oceanian Congress of Child Neurology, Fukuoka (Japan), 20170511, Brain & Development

## e. 一般講演

## f. その他

## (2) 国内学会 (全国レベル)

## a. 招待・特別講演等

- 1731045** 大嶋勇成: 小児アレルギー疾患と環境因子, 第48回日本職業・環境アレルギー学会総会・学術大会, 福井市, 20170630
- 1731046** 大嶋勇成: アレルギー発症予防, 第28回日本小児科医会総会フォーラム in 富山, 20170610

## b. シンポジスト・パネリスト等

- 1731047** 川谷正男: 発達障がい者のきょうだい支援福井県における自閉症児のきょうだい支援の実際と課題~小児科医, きょうだいの立場より~, 第59回日本小児神経学会学術集会, 発達障がい者のきょうだい支援, 大阪市, 20170615, 脳と発達, 49, 5148, 2017
- 1731048** 川崎亜希子, 伊藤尚弘, 野村詠史, 村井宏生, 安富素子, 眞弓光文, 大嶋勇成: 疫学・病態 皮膚への介入が経皮感作による食物アレルギーの症状誘発に及ぼす影響, 第66回日本アレルギー学会学術大会, 食物アレルギー, 東京, 20170616
- 1731049** 大嶋勇成: 小児科医から, 第66回日本アレルギー学会学術大会, 若手研究者へ! これが新たな半世紀の解くべき課題, 東京, 20170616
- 1731050** 大嶋勇成: 小児重症気管支喘息における最新治療—基礎の面から, 第66回日本アレルギー学会学術大会, 小児気管支喘息の最新治療—基礎と臨床の面から—, 東京, 20170616

## c. 一般講演 (口演)

- 1731051** 宮永美紀, 宇都宮夏子, 尾山徳孝, 長谷川裕, 伊藤尚弘, 村井宏生, 大嶋勇成: アサリによる新生児-乳児消化管アレルギーの1例 パッチテストを用いたアサリ内の抗原局在の検討, 第47回日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会総会学術大会, 鹿児島市, 2017
- 1731052** 村井宏生, 野村詠史, 伊藤尚弘, 川崎亜希子, 安富素子, 大嶋勇成: 教職員の食物アレルギー講習会を反復受講することの有用性と問題点, 第54回小児アレルギー学会学術大会, 宇都宮市, 2017
- 1731053** 嶋晴子, 谷澤昭彦, 黒澤秀光, 渡辺輝浩, 伊藤正樹, 遠野千佳子, 湯坐有希, 村松秀城, 堀田紀子, 岡田雅彦, 後藤裕明, 康勝好, 今井千速, 嶋田博之: 長期TKI治療下の小児慢性期CML患者の性腺機能 (JPLSG CML-08研究), 第79回日本血液学会学術集会, 東京, 20171022, 臨床血液, 58(9), 480 (1588)
- 1731054** Itonaga H, Miyazaki Y, Imai K, Hasegawa Y, Ikeda T, Taji H, Amano I, Ichinohe T, Fukuda T, Atsuta Y, Tanizawa A, Kondo T: 慢性好中球性白血病と非定型慢性骨髄性白血病に対する同種造血幹細胞移植, 第79回日本血液学会学術集会, 東京, 20171022, 臨床血液, 58(9), 466(1574)
- 1731055** Shima H, Tanizawa A, Kurosawa H, Watanabe A, Ito M, Tono C, Yuza Y, Hamamoto K, Muramatsu H, Hotta N, Okada M, Shimada H: イマチニブ抵抗性または不耐容の小児慢性期CMLに対する第2世代TKIの治療反応性 (JPLSG CML-08研究), 第59回日本小児血液・がん学会学術集会, 松山市, 20171109, 日本小児血液・がん学会雑誌, 54(4), 232
- 1731056** Shimada H, Kurosawa H, Watanabe A, Ito M, Tono C, Shima H, Yuza Y, Hamamoto K, Muramatsu H, Hotta N, Okada M, Tanizawa A: 小児慢性期慢性骨髄性白血病 (CML) に対する多施設共同観察研究CML-08: 平成29年度予備解析, 第59回日本小児血液・がん学会学術集会, 松山市, 20171109, 日本小児血液・がん学会雑誌, 54(4), 231
- 1731057** Yuza Y, Shimada H, Kurosawa H, Watanabe A, Ito M, Tono C, Shima H, Hamamoto K, Muramatsu H, Hotta N, Okada M, Tanizawa A: 小児慢性期慢性骨髄性白血病 (CML) に対する多施設共同観察研究 (CML-08): 平成29年度急性有害事象に関する報告, 第59回日本小児血液・がん学会学術集会, 松山市, 20171109, 日本小児血液・がん学会雑誌, 54(4), 231
- 1731058** Tanizawa A, Kurosawa H, Watanabe A, Ito M, Tono C, Shima H, Yuza Y, Hamamoto K, Hotta N, Muramatsu H, Okada M, Shimada H: 小児慢性期慢性骨髄性白血病に対する多施設共同観察研究 (CML-08): 平成29年度予備解析: 変異解析について, 第59回日本小児血液・がん学会学術集会, 松山市, 20171109, 日本小児血液・がん学会雑誌, 54(4), 231
- 1731059** 嶋田博之, 谷澤昭彦, 村松秀城, 石田也寸志, 安井昌博, 東條有伸, 長村登紀子, 衛藤徹也, 五十嵐愛子, 金森平和, 佐藤真穂, 稲垣二郎, 一戸辰夫, 井上雅美, 加藤剛二, 熱田由子, 大橋一輝: 小児・AYA世代の慢性骨髄性白血病 (CML) に対する骨髄非破壊的移植 (RIST) の成績, 第40回日本造血細胞移植学会総会, 札幌市, 20180203, 240
- 1731060** 坂本謙一, 鈴木孝二, 他: JACLS ALL-97, -02研究における骨髄死発生頻度とリスク因子の解析, 第59回日本小児血液・がん学会学術集会, 松山市, 201711, 日本小児血液・がん学会雑誌, 54(4), 287
- 1731061** 伊藤尚弘, 安富素子, 村井宏生, 川崎亜希子, 大嶋勇成: 鶏卵の経口免疫療法におけるIgG4・IgAの経時的変化の解析, 第54回小児アレルギー学会学術大会, 宇都宮市, 201711, 日本小児アレルギー学会雑誌, 31(4), 602, 2017
- 1731062** 山田健太, 湯浅光織, 吉川利英, 大嶋勇成: 小児のAntimicrobial Stewardship Programがない施設における, 下気道感染症診療への抗菌薬適正使用にむけた予備調査, 第49回日本小児感染症学会総会・学術集会, 金沢市, 201710, 第49回日本小児感染症学会総会・学術集会 プログラム・抄録集, 203, 201710
- 1731063** 広瀬知美, 浅野みどり, 谷澤昭彦, 鈴木孝二: 幼少期に発症したAYA世代の小児がん経験者と母親の病気と健康に対する認識 未告知だった2事例に着目した分析, 第15回日本小児がん看護学会学術集会, 松山市, 201711, 日本小児血液・がん学会雑誌, 54(4), 435
- 1731064** 重見博子, 伊藤和広, 田居克規, 山内高弘, 岩崎博道, 山田健太, 大嶋勇成: 感染制御部介入により小児科病棟内Bacillus cereus感染発症を予防し得た事例, 第65回日本科学療法学会学術集会, 東京, 20170406, 日本化学療法学会雑誌, 65(Suppl.A), 267, 201707
- 1731065** 林泰平, 清水達人, 伊藤尚弘, 村井宏生, 玉村宗一, 森夕起子, 大嶋勇成, 糟野健司: 無尿を伴う急性腎障害で発症したルーブス腎炎+急性尿管障害の女児例, 第52回日本小児腎臓学会, 東京, 20170601, 日本小児腎臓病学会雑誌, 30(1), 108, 201705
- 1731066** 小野浩明, 川北理恵, 中村公俊, 小原取, 藤木亮次, 笹井英雄, 深尾敏幸, 湯浅光織, 重松陽介: A case of dihydroliipoamide dehydrogenase deficiency with elevated citrulline on newborn screening., 第59回日本小児神経学会, 大阪市, 201706, 脳と発達, 49(Suppl.総会号), 334, 201705

業績一覧

- 1731067** 谷田けい、星野顕宏、今井耕輔、岡田賢、大西秀典、鈴木孝二、南部隆亮、森雅亮、金兼弘和、森尾友宏：多彩な自己免疫疾患を合併するSTAT3機能獲得変異，第27回日本小児リウマチ学会総会，京都市，201710，日本小児リウマチ学会総会・学術集会プログラム・抄録集
- 1731068** 湯浅光織、畑郁江、小坂拓也、磯崎由宇子、重松陽介、大嶋勇成、渡邊順子、田代恭子、原圭一、但馬剛：有熱性痙攣に続いて著明なCK上昇を認めたSCAD欠損症の一例，第59回日本先天代謝異常学会総会，川崎市，20171012，日本先天代謝異常学会雑誌，第59回日本先天代謝異常学会総会号，33，208，201709
- 1731069** 湯浅光織、磯崎由宇子、畑郁江、大嶋勇成、重松陽介、原圭一、但馬剛：初回濾紙血での重症度評価が困難であったVLCAD欠損症の一例，第44回日本マススクリーニング学会学術集会，秋田市，20170818，第44回日本マススクリーニング学会学術集会抄録号，27(2)，57，201707
- 1731070** 香川礼子、但馬剛、原圭一、畑郁江、重松陽介、藤原紗季、森岡千代美、吉井千代子：リンパ球MCAD活性測定では非罹患者と判断されたC8高値遷延例の遺伝子型と脂肪酸代謝能，第44回日本マススクリーニング学会学術集会，秋田市，20170818，第44回日本マススクリーニング学会学術集会抄録号，27(2)，59，201707
- 1731071** 原圭一、但馬剛、津村弥来、香川礼子、岡田賢、佐倉伸夫、畑郁江、重松陽介：CPT-2欠損症のマススクリーニング（C16+C18:1）/C2の有効性の検討，第44回日本マススクリーニング学会学術集会，秋田市，20170818，第44回日本マススクリーニング学会学術集会抄録号，27(2)，60，201707
- 1731072** 小泉遼、尾山徳孝、大嶋勇成、長谷川稔：ヒドロキシクロロキン塩酸塩が著効したlupus erythematosus tumidusの1例，第81回日本皮膚科学会東京支部学術大会，東京，201711
- 1731073** 宇都宮夏子、宇都宮慧、笠松宏至、尾山徳孝、徳力篤、長谷川稔、大嶋勇成：Anterior cervical hypertrichosisの1例，第41回日本小児皮膚科学会学術集会，福井市，201707
- 1731074** 五十嵐愛子、奥野貴士、徳力周子、畑 郁江、大嶋勇成：頸部の巨大血管腫に甲状腺機能低下症を併発した超低出生体重児の1例，第41回日本小児皮膚科学会学術大会，福井市，20170709，第41回日本小児皮膚科学会学術大会 プログラム・抄録集，120
- 1731075** 島田絵里華、尾山徳孝、知野剛直、宇都宮夏子、徳力篤、長谷川稔、安富素子、大嶋勇成、酒井康弘、早川幸紀：BCG接種後の女兒に生じた壊死性丘疹状結核疹の1例，第41回日本小児皮膚科学会学術集会，福井市，201707
- 1731076** 田尾克生、大嶋勇成：分娩様式が新生児の経時的 心機能変化に与える影響の検討，第53回日本小児循環器病学会学術集会，浜松市，201707
- 1731077** Murai H, Nomura E, Itoh N, Kawasaki A, Yasutomi M, Ohshima Y: Salivary YKL-40 could reflect peripheral airflow limitation in asthmatic children, 第66回日本アレルギー学会学術大会，東京，201706
- 1731078** 湯浅光織、磯崎由宇子、畑郁江、重松陽介、大嶋勇成：新生児スクリーニングにおけるアシルグリニン分析の有用性の検討，第120回日本小児学会学術集会，東京，20170413，日本小児科学会雑誌，121(2)，269，20170201
- d. 一般講演 (ポスター)**
- 1731079** 奥野貴士、五十嵐愛子、巨田元礼、村井宏生、徳力周子、大嶋勇成：IgE依存性即時型反応の関与が示唆された新生児乳児消化管アレルギーの超低出生体重児例，第62回日本新生児成育医学会学術集会，さいたま市，201710，第62回日本新生児成育医学会抄録号，29(3)，731
- 1731080** 小坂拓也、巨田元礼、川谷正男、大嶋勇成：早期ミオクローニー脳症に対しフェノバルビタール大量療法が有効であった1例，第51回日本てんかん学会学術集会，京都市，201711，てんかん研究，35(2)，493，201711
- 1731081** 篠田邦大、福島啓太郎、山本暢之、鈴木孝二、矢野道広、石田裕二、大曾根眞也、齋藤雄弥、佐野弘純、澤田明久、新小田雄一、嘉数真理子、加藤陽子、森尚子、水谷修紀：本邦の小児がん化学療法における感染症対策の現状(第一報) 環境と検査，第59回日本小児血液・がん学会学術集会，松山市，201711
- 1731082** 篠田邦大、福島啓太郎、山本暢之、鈴木孝二、矢野道広、石田裕二、大曾根眞也、齋藤雄弥、佐野弘純、澤田明久、新小田雄一、嘉数真理子、加藤陽子、森尚子、水谷修紀：本邦における小児がん化学療法に対する感染症対策の現状(第二報) 予防と治療，第59回日本小児血液・がん学会学術集会，松山市，201711
- 1731083** 山本暢之、福島啓太郎、鈴木孝二、篠田邦大、齋藤雄弥、澤田明久、石田裕二、嘉数真理子、森尚子、加藤陽子、新小田雄一、大曾根眞也、佐野弘純、矢野道広、水谷修紀：本邦における小児がん患者に対する口腔ケアの現状 JCG施設調査より，第59回日本小児血液・がん学会学術集会，松山市，201711
- 1731084** 鈴木孝二、福島啓太郎、山本暢之、篠田邦大、矢野道広、石田裕二、大曾根眞也、嘉数真理子、加藤陽子、齋藤雄弥、佐野弘純、澤田明久、新小田雄一、森尚子、水谷修紀：本邦における小児がん患者の食事管理に関する現状調査 JCG施設調査より，第59回日本小児血液・がん学会学術集会，松山市，201711
- 1731085** 前田浩幸、横井繁周、片山寛次、五井孝憲、伊藤勲子、大田浩司、井川正道、畑郁江、米田誠：家族性乳癌が疑われた患者・家族に対するBRCA1/2遺伝子診断の検討，日本人類遺伝学会第62回大会，神戸市，201711
- 1731086** 大田浩司、伊藤朋子、前田浩幸、畑郁江、井川正道、米田誠：遺伝性乳癌に対する遺伝カウンセリング適応症例数の検討，日本人類遺伝学会第62回大会，神戸市，201711
- 1731087** 川谷正男、畑 郁江、井川正道、前田浩幸、米田 誠、足立香織、難波栄二：筋強直性ジストロフィーの出生前診断 福井県における現状と問題点，日本人類遺伝学会第62回大会，神戸市，201711
- 1731088** 井川正道、岡沢彦彦、辻川哲也、清野智恵子、前田浩幸、川谷正男、畑郁江、木村浩彦、米田誠：分子イメージングによるMELAS脳卒中様発作の病態解明，日本人類遺伝学会第62回大会，神戸市，201711
- 1731089** 小坂拓也、熊野麻美、林仁幸子、富士根明雄、津田明美：福井県こども療育センター施設部門での保育士研修の報告，第59回日本小児神経学会学術集会，大阪市，201706，脳と発達，49(学術集会号)，467，201705
- 1731090** 畑郁江、湯浅光織、重松陽介、川谷正男、玉村千代、高橋仁、井川正道、米田誠、新井田要、長谷川有紀、山口清次：ミトコンドリア三頭酵素欠損症の保因者診断・出生前診断の経験，日本人類遺伝学会第62回大会，神戸市，201711
- 1731091** 松田安史、坂井晴香、増永志徳、海老田ゆみえ、小林洋子、山内高弘、大岩加奈、大藏美幸、森田美穂子、清崎芳正、岩崎博道、鈴木孝二、松原弘紀、豊田重剛：輸血製剤の投与中に輸液ルート内にひも状構造物を認めたい一例，日本輸血細胞治療学，2017
- 1731092** 野村詠史、鈴木孝二、山田健太、池田和美、清水達人、吉川利英、酒井康弘、今村好章、谷澤昭彦、大嶋勇成：肝原発血管系悪性腫瘍に対してバクリタキセルが有効であった乳児例，第120回日本小児科学会学術集会，東京，20170415，日本小児科学会雑誌，121(2)，422，20170201
- 1731093** 津田明美、川谷正男、友田明美、平谷美智夫：「子どもの心の診療医養成研修」実施の報告～「早期発見→早期支援→途切れない支援」をめざして～，第59回日本小児神経学会学術集会，大阪市，20170616，脳と発達，49，5466，2017
- 1731094** 湯浅光織、吉川利英、鈴木孝二、谷澤昭彦、大嶋勇成：急性リンパ性白血病の治療経過中に好中球減少性腸炎とclostridium difficile関連下痢症を併発した1例，第49回日本小児感染症学会総会・学術集会，金沢市，20171021，日本小児感染症学会雑誌，(プログラム抄録集)，287，201710
- 1731095** 伊藤尚弘、村井宏生、川崎亜希子、安富素子、長谷川稔、大嶋勇成：凍瘡状ループスにハイドロキシクロロキンが著効したSLE，第27回日本小児リウマチ学会総会・学術集会，京都市，201710
- 1731096** 吉川利英、谷澤昭彦、池田和美、渡邊一寿、林泰平、湯浅光織、巨田元礼、鈴木孝二、今村好章、村上真、五井孝憲、大嶋勇成：急性虫垂炎を発症した造血器腫瘍の3例；画像検査の役割，第59回日本小児血液・がん学会学術集会，松山市，20171110，日本小児血液・がん学会雑誌，54(4)，376，201710

業績一覧

- 1731097** 巨田元礼, 川谷正男, 小坂拓也, 米谷博, 大嶋勇成: 頻りに再発を繰り返す抗MOG抗体関連多相性散在性脳脊髄炎を疑う8歳女児例, 第59回日本小児神経学会学術集会, 大阪市, 20170617, 脳と発達, 49(学術集会号), 5473-5473, 201705
- 1731098** 伊藤 尚弘, 鈴木 孝二, 前田 夢吉, 安富 素子, 村上 真, 小林 英理子, 今村 好章, 谷内 裕輔, 岩井 和之, 大嶋 勇成: 複数のリンパ節腫脹を認めたが外科的切除を行った限局型Castleman病の1例, 第120回日本小児科学会学術集会, 東京, 20170414, 日本小児科学会雑誌, 121(2), 369, 20170201
- e. 一般講演**
- f. その他**
- (3) 国内学会 (地方レベル)**
- a. 招待・特別講演等**
- 1731099** 大嶋勇成: 最新食物アレルギーガイドラインを読み解く, 平成29年度福井県小児科医会, 福井市, 20170525
- b. シンポジスト・パネリスト等**
- c. 一般講演 (口演)**
- 1731100** 中林結子, 巨田元礼, 吉川利英, 津田雅世, 鈴木孝二, 大嶋勇成, 谷澤昭彦: 年少児に発症したEpstein-Barr virus伝染性単核球症の経験, 第16回日本小児科学会福井地方会, 福井市, 20171104
- 1731101** 小坂拓也, 巨田元礼, 米谷博, 川谷正男, 大嶋勇成: 経口デキサメサゾンパルス療法が有効であったオプソクローヌス・ミオクローヌス症候群の3例, 第73回日本小児神経学会北陸地方会, 金沢市, 20180204, 脳と発達
- 1731102** 宮永光次, 巨田元礼, 小坂拓也, 鈴木孝二, 川谷正男, 畑郁江, 大嶋勇成: スニネルセンNa投与を開始したSMA I型の1歳男児例, 第321回日本小児科学会北陸地方会, 20171210
- 1731103** 宮永光次, 巨田元礼, 吉川利英, 鈴木孝二, 大嶋勇成, 谷澤昭彦, 今村好章, 酒井康弘, 谷内江昭宏, 竹内元浩: EBNA陽性の血球貪食症候群より慢性活動性EBウイルス感染症 (CAEBV) が疑われた5歳男児例, 第322回日本小児科学会北陸地方会, 富山市, 20180311
- 1731104** 重見博子, 室井洋子, 田居克規, 伊藤和弘, 山田健太, 大嶋勇成, 山内高弘, 早稲田優子, 山内高弘, 石塚全, 岩崎博道: 院内インフルエンザ感染報告と県内感染状況の関連性の後方視的解析, 第87回日本感染症学会西日本地方会, 長崎市, 20171026
- 1731105** 林泰平, 伊藤尚弘, 村井宏生, 玉村宗一, 森夕起子, 大嶋勇成, 糟野健司, 岩野正之: 無尿で発症した傍尿管細毛細血管炎と急性尿管細管傷害を合併したループス腎炎の女児例, 第47回日本腎臓学会西部学術大会, 岡山市, 20171013, 日本腎臓学会誌, 59(6), 713, 2017
- 1731106** 小坂拓也, 巨田元礼, 川谷正男: 脳内多発石灰化を伴う精神運動発達退行を認めた10歳女児, 日本小児神経学会北陸地方会夏季セミナー (第7回白山セミナー), あわら市, 20170715
- 1731107** 巨田元礼, 小坂拓也, 川谷正男: 乳児期早期より睡眠障害を認める1歳11か月女児例, 日本小児神経学会北陸地方会夏季セミナー (第7回白山セミナー), あわら市, 20170715
- 1731108** 鈴木孝二, 伊藤尚弘, 前田夢吉, 吉川利英, 大嶋勇成, 谷澤昭彦, 赤澤愛弓, 北井隆平, 法木左近, 小林英理子, 今村好章, 岩井和之: 後頭蓋に発生した melanotic neuroectodermal tumor of infancy (MN1) に対する治療経験, 第53回中部日本小児科学会, 金沢市, 20170820
- 1731109** 宮永光次, 小坂拓也, 湯浅光織, 吉川利英, 巨田元礼, 鈴木孝二, 大嶋勇成, 谷澤昭彦, 大越忠和, 内木宏延, 中嶋秀明, 池田和美: オプソクローヌス・ミオクローヌス症候群を合併した切除不能低リスク神経芽腫の経験, 第320回日本小児科学会北陸地方会, 永平寺町, 20170604, 日本小児科学会雑誌, 121(11), 1915-1916, 2017
- d. 一般講演 (ポスター)**
- e. 一般講演**
- f. その他**
- (4) その他の研究会・集会**
- a. 招待・特別講演等**
- b. シンポジスト・パネリスト等**
- c. 一般講演 (口演)**
- 1731110** 伊藤尚弘, 川崎亜希子, 野村詠史, 村井宏生, 安富素子, 眞弓光文, 大嶋勇成: 皮膚への介入が経皮感作による食物アレルギーの症状誘発に及ぼす影響, 第44回北陸アレルギー研究会, 金沢市, 20171202
- 1731111** 鈴木孝二, 小坂拓也, 宮永光次, 湯浅光織, 前田夢吉, 安富素子, 吉川利英, 大嶋勇成, 谷澤昭彦: 当科におけるX連鎖血小板減少症に対する非血縁者間骨髄移植の経験, 第7回北陸免疫不全症セミナー, 金沢市, 20180302
- 1731112** 林泰平, 中林結子, 巨田元礼, 畑郁江, 大嶋勇成: 小児腎サルコイドーシスの1例, 第9回北陸小児リウマチ研究会, 金沢市, 20180303
- 1731113** 伊藤尚弘: 抗ヒスタミン薬の使用について ～アナフィラキシー時の対応を含む～, 第23回北陸小児救急・集中治療研究会, 金沢市, 20170513
- 1731114** 鈴木孝二, 小坂拓也, 吉川利英, 出淵雄哉, 松峯昭彦, 酒井康弘, 今村好章, 谷澤昭彦, 大嶋勇成: 股関節に発生した非ランゲルハンス細胞組織球症～診断および治療方針について～, 第46回北陸小児癌研究会, 金沢市, 20170916
- 1731115** 畑郁江: 当科における小児2型糖尿病診療の状況一患者背景と治療支援一, 北陸小児糖尿病診療を考える会, 金沢市, 20170624
- d. 一般講演 (ポスター)**
- e. 一般講演**
- f. その他**
- (C) 特許等**
- | 区分 | 内容 (発明の名称) | 発明者又は考案者 |
|----|------------|----------|
|    |            |          |
- (D) その他業績**

## 4. グラント取得

## (A) 科研究費・研究助成金等

区分	プロジェクト名	研究課題名	代表者名	分担者名	期間(年度)	金額(配分額)
難治性疾患実用化研究事業	AMED受託研究	食物アレルギーに対する免疫療法と効果判定法の開発	大嶋 勇成		2017	1200000
免疫アレルギー疾患等実用化研究事業	AMED受託研究	①MELAS/MELAIに対するビルビン酸療法 Phase2試験および長期試験の実施 ②新規バイオマーカーGDF15の体外診断薬としての開発研究 ③ミトコンドリア病の診断・治療アルゴリズムの策定	畑 郁江		2017	936000

区分	研究種目	課題名	代表者名	分担者名	期間(年度)	金額(配分額)
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	アクチン架橋蛋白を介した免疫調節機構の解明	安富 素子		2017	1560000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	ナノ粒子を利用した食物アレルギーの経皮免疫療法	大嶋 勇成		2017	1690000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	ナノ粒子を用いた分化誘導療法による新たな神経芽腫治療法の開発	鈴木 孝二		2017	1690000
文部科学省科学研究費補助金	若手研究(B)	未熟児における新たな腸管発育評価法の確立と腸保護戦略	奥野 貴士		2017	1170000
文部科学省科学研究費補助金	若手研究(B)	気道上皮における小胞体ストレス応答が気管支喘息の病態に与える影響	村井 宏生		2017	1040000
文部科学省科学研究費補助金	若手研究(B)	線維細胞を指標とした気道リモデリング進展リスク評価法の確立	林 仁幸子		2017	1040000
学内競争的資金	平成29年度若手研究育成経費	ナノ粒子を用いた薬物輸送システムの研究	吉川 利英		2017	400000
学内競争的資金	平成29年度若手研究育成経費	未熟児の腎機能評価のための非侵襲的バイオマーカーの開発	林 泰平		2017	400000

## (B) 奨学寄附金

受入件数	15
受入金額	7400000

## 5. その他の研究関連活動

## (A) 学会開催等

区分	主催・共催の別	学会名	開催日	開催地
その他の研究集会	主催者	第17回中部小児がんトータルケア研究会	20170930	福井市
国内学会(全国レベル)	主催者	第41回日本小児皮膚科学会学術大会	20170708-20170709	福井市

## (B) 学会の兼職

学会の名称	役職	氏名
日本小児科学会	代議員	大嶋勇成
日本小児科学会	編集委員	大嶋勇成
日本小児科学会	中部地区資格認定委員会委員	大嶋勇成
日本アレルギー学会	編集委員	大嶋勇成
日本アレルギー学会	専門医試験作成委員長	大嶋勇成
日本アレルギー学会	倫理委員	大嶋勇成
日本アレルギー学会	専門医制度委員	大嶋勇成
日本アレルギー学会	代議員	大嶋勇成
日本アレルギー学会	理事	大嶋勇成
日本小児アレルギー学会	評議員	大嶋勇成
日本小児アレルギー学会	理事	大嶋勇成
日本小児アレルギー学会	編集委員長	大嶋勇成
日本小児アレルギー学会	将来計画委員長	大嶋勇成
日本小児アレルギー学会	食物アレルギーガイドライン委員会委員	大嶋勇成
日本小児アレルギー学会	倫理委員会委員長	大嶋勇成
日本小児アレルギー学会	利益相反委員会委員	大嶋勇成
日本小児アレルギー学会	免疫療法WG委員会委員	大嶋勇成
日本小児感染症学会	評議員	大嶋勇成
日本小児感染症学会	編集委員	大嶋勇成
日本小児感染症学会	理事	大嶋勇成
日本小児呼吸器学会	学術委員会委員	大嶋勇成
日本小児呼吸器学会	情報処理委員会委員	大嶋勇成
日本小児呼吸器学会	地区運営委員	大嶋勇成
日本小児皮膚科学会	運営委員	大嶋勇成
日本小児皮膚科学会	編集委員	大嶋勇成
国際喘息学会日本・北アジア部会	幹事	大嶋勇成
日本小児耳鼻科学会	運営委員	大嶋勇成
日本小児科学会福井地方会	会長	大嶋勇成
日本小児科学会北陸地方会	委員	大嶋勇成
日本アレルギー協会	北陸支部長	大嶋勇成

福井県小児保健協会	副会長	大嶋勇成
日本骨髓バンク	調整医師	谷澤昭彦
日本小児がん研究グループ	血液腫瘍分科会CML委員会委員長	谷澤昭彦
日本造血細胞移植学会	慢性骨髄性白血病(CML)/骨髄増殖性腫瘍(MPN)【小児】ワーキング	谷澤昭彦
日本人類遺伝学会	評議員	畑郁江
日本先天代謝異常学会	評議員	畑郁江
北陸小児救急・集中治療研究会	世話人	畑郁江
福井糖尿病療養指導研究会	理事	畑郁江
日本人類遺伝学会	評議員	川谷正男
日本小児神経学会	評議員	川谷正男
日本小児神経学会	アーカイブ小委員会委員	川谷正男
日本小児神経学会	ホームページ委員会委員	川谷正男
日本小児神経学会北陸地方会	幹事	川谷正男
福井県小児保健協会	理事	川谷正男
日本小児アレルギー学会	疫学調査WG委員	安富素子
日本骨髓バンク	調整医師	鈴木孝二
日本小児アレルギー学会	評議員	村井宏生
日本小児アレルギー学会	小児アレルギー教育セミナーWG委員	村井宏生
日本小児アレルギー学会	喘息治療・管理ガイドラインSR委員	村井宏生
未熟児新生児医療研究会	世話人	奥野貴士
北陸周産期新生児研究会	世話人	奥野貴士
日本周産期・新生児医学会	評議員	徳力周子

## (G) 座長

国内学会	学会名	氏名
招待・特別講演等	IgEExpert SUMMIT Japan for pediatrics 2017	大嶋勇成
招待・特別講演等	第49回日本小児感染症学会総会・学術集会	大嶋勇成
招待・特別講演等	第41回日本小児皮膚科学会学術大会	大嶋勇成
招待・特別講演等	第41回日本小児皮膚科学会学術大会	大嶋勇成
招待・特別講演等	第34回日本小児難治喘息・アレルギー疾患学会	大嶋勇成
一般講演(口演)	第9回北陸小児リウマチ研究会	大嶋勇成
一般講演(口演)	第7回北陸小児免疫不全症セミナー	大嶋勇成
一般講演(口演)	第5回小児免疫不全症セミナー	大嶋勇成
一般講演(口演)	第27回国際喘息学会日本・北アジア部会	大嶋勇成
シンポジウム等	第34回日本小児難治喘息・アレルギー疾患学会	大嶋勇成
シンポジウム等	第18回食物アレルギー研究会	大嶋勇成
その他	第54回日本小児アレルギー学会学術大会	大嶋勇成
その他	第50回日本小児呼吸器学会	大嶋勇成
その他	第49回日本小児感染症学会総会・学術集会	大嶋勇成
招待・特別講演等	第47回北陸小児癌講演会	谷澤昭彦
招待・特別講演等	第33回血液がん集学的治療の会	谷澤昭彦
招待・特別講演等	第3回北陸小児血液研究会	谷澤昭彦
一般講演(口演)	第59回日本小児血液・がん学会学術集会	谷澤昭彦
招待・特別講演等	第23回北陸小児救急・集中治療研究会	畑郁江
招待・特別講演等	第2回福井県1型糖尿病研究会	畑郁江
一般講演(口演)	第59回日本先天代謝異常学会	畑郁江
招待・特別講演等	第2回小児神経学サテライトセミナー	川谷正男
招待・特別講演等	第23回福井県てんかん懇話会	川谷正男
シンポジウム等	第59回日本小児神経学会	川谷正男
シンポジウム等	福井県小児保健協会第59回学術集会	川谷正男
一般講演(口演)	第59回日本小児神経学会	川谷正男
一般講演(口演)	第7回白山セミナー(日本小児神経学会北陸地方会夏季セミナー)	川谷正男
一般講演(口演)	第33回血液がん集学的治療の会	鈴木孝二



業績一覧

一般講演 (口演)	第53回中部小児科学会	鈴木孝二
一般講演 (口演)	第17回中部トータルケア研究会	鈴木孝二
一般講演 (口演)	第3回北陸小児血液研究会	鈴木孝二
一般講演 (口演)	第320回日本小児科学会北陸地方会	奥野貴士
一般講演 (口演)	第16回日本小児科学会福井地方会	吉川利英

(D) 学術雑誌等の編集

学術雑誌等の名称	委員長(主査)・委員	氏名
日本小児アレルギー学会雑誌	委員長	大嶋勇成
Pediatr Int	委員	大嶋勇成
Allergol Int	委員	大嶋勇成
小児感染免疫	委員	大嶋勇成
日本小児皮膚科学会雑誌	委員	大嶋勇成
Curr Immunol Rev		大嶋勇成
Pediatr Int		大嶋勇成
BMC Pediatr		大嶋勇成
Clin Exp Immunol		大嶋勇成
World J		大嶋勇成
日本小児呼吸器学会雑誌		大嶋勇成
小児感染免疫		大嶋勇成
アレルギー		大嶋勇成
日本小児皮膚科学会		大嶋勇成
Front Pediatr		大嶋勇成
Allergol Int		大嶋勇成
J Allergy Clin Immunol		大嶋勇成
Pediatr Allergy Immunol		大嶋勇成
Pediatr Int		畑郁江
日本小児アレルギー学会雑誌		村井宏生
Allergol Int		村井宏生
Pediatr Int		村井宏生

(E) その他

- 1731116** 川崎 亜希子, 伊藤 尚弘, 村井 宏生, 安富 素子, 内木 宏延, 大嶋 勇成: 2017年度後期優秀論文賞 (医学研究推進室), Skin inflammation exacerbates food allergy symptoms in epicutaneously sensitized mice, 2017
- 1731117** 大嶋 勇成: アレルギー 46巻創立50周年記念特別号 (公益財団法人日本アレルギー協会), 日本アレルギー協会各支部の歴史: 北陸支部の歴史, 20171001
- 1731118** 大嶋 勇成: infoAllergy 第81号 (公益財団法人 日本アレルギー協会), 日本アレルギー協会北陸支部の活動報告, 20170901
- 1731119** 大嶋 勇成: 学校における食物アレルギー対応の手引き (平成28年度学校保健総合支援事業連絡協議会 食物アレルギー対応の手引き作成委員 監修), 学校における食物アレルギー対応の手引き, 20170000
- 1731120** 大嶋 勇成: 福井市広報誌「ほっと」第34号7 (福井市福祉保健部子育て支援室), 溶連菌について, 20180201
- 1731121** 大嶋 勇成: 子どもの体元気ガイド by福井県小児科医会 (福井新聞), アトピー性皮膚炎, 20180108
- 1731122** 大嶋 勇成: 福井市広報誌「ほっと」第33号7 (福井市福祉保健部子育て支援室), 頭シラミについて, 20170801
- 1731123** 大嶋 勇成: 子どもの体元気ガイド by福井県小児科医会 (福井新聞), 食物アレルギー, 20170828
- 1731124** 畑 郁江: “ふくいのドクター相談室” 小学生の孫娘 身長伸びに不安 (福井新聞), 20170406
- 1731125** 川谷 正男: 子どもの体元気ガイド (福井新聞), 発達障害 理解と支援を, 20170904
- 1731126** 村井 宏生: 福大病院まちかどラジオ, こどものアレルギー, 20170600
- 1731127** 山田 健太: おかえりホームドクター (福井テレビ), ヘルパンギーナ, 20170600